



奉仕団とやま

発行

赤十字奉仕団
富山県支部委員会富山市飯野26-1
日本赤十字社富山県支部内
電話 (076) 451-7878

年1回発行

日本赤十字社の活動は、それぞれの財源で運営される病院、血液事業、社会福祉事業を除き、「会費」と「寄付金」(総称「社資」)により賄われています。赤十字奉仕団に入団され、赤十字への寄付イコール「社費」「500円」「社員」と覚えられた方は、大勢いらっしゃるのではないのでしょうか。

平成29年4月、「社費」は「会費」に、「社員」は「会員」に呼称変更されました。また、年額2,000円以上の協力者を「会員」、2,000円未満の協力者を「協力会員」と呼称することにも併せて変更されました。会員の基準が500円から2,000円に変更されることで、赤十字離れ、奉仕団離れが進む



全国統一会員誌「Cross com-BOOK」

のではないかと危惧しておりますが、奉仕団委員長をはじめ役員の皆さまのご理解とご協力をいただき、大きな混乱もなく、間もなく5年を迎えようとしています。

「2,000円の会員になって、どんなメリットがあるの?」という質問をいただくことがあります。正直申し上げて、会員限定サービスのような特典はありません。会費へのご協力を通じた赤十字活動への参加を社会貢献や奉仕

活動のひとつとしてお考えいただければ幸いです。

今年度から、特典とまでは言えませんが、会員には日本赤十字社から年2回程度、全国統一会員誌「Cross com-BOOK(クロスコムブック)」を郵送しています。皆さまからお寄せいただきました会費が、どのように社会課題の解決につながったのか、丁寧に説明することを心掛けて製作していますので、お手元に届きましたならば、ぜひご覧ください。

日本赤十字社の活動は、支援してくださる会員の皆さまに支えられているため、一人でも多くの方に会員になっていただきたいと思います。各個人の年齢や体力、ご事情、思いに合わせた形で、富山県内における赤十字活動をお支えください。どうぞよろしくお願いたします。



赤十字奉仕団結成状況

(令和3年3月31日現在)

全 国	地域赤十字奉仕団	2,120団	1,118,897人
	青年赤十字奉仕団	152団	5,483人
	特殊赤十字奉仕団	633団	30,943人
	計	2,905団	1,155,323人
富山県	地域赤十字奉仕団	53団	3,343人
	青年赤十字奉仕団	1団	16人
	特殊赤十字奉仕団	7団	138人
	計	61団	3,497人

富山県赤十字奉仕団 6つの統一活動

- ① 在宅ひとり暮らし高齢者訪問
 - ② 社資募集、赤十字運動月間キャンペーン協力
 - ③ 災害時における救援活動
 - ④ 献血推進活動
 - ⑤ NHK海外たすけあい
 - ⑥ 赤十字講習の受講
- その他、地域のニーズに合わせた活動を各団で行いましょう。

令和4年度富山県赤十字奉仕団事業計画

5月	赤十字奉仕団富山県支部委員会（富山市） 赤十字運動月間 全国赤十字大会（東京都） 在宅ひとりくらし高齢者訪問 赤十字奉仕団富山県支部委員会常任委員会・研修部会 （県支部）
4月	赤十字奉仕団研修会（県内4地区） 赤十字奉仕団中央委員会（本社） 支部施設合同災害救護訓練（富山市） 第3B青年赤十字奉仕団代表者及び担当者会議（長野県） 愛の血液助け合い運動月間 赤十字ボランティア・リーダー研修会（東京都） オンラインを使った情報交換体験会（県支部） 第3B赤十字奉仕団委員長並びに担当者会議（静岡県） 赤十字奉仕団日帰り研修旅行 赤十字奉仕団富山県支部委員会常任委員会（県支部） 赤十字奉仕団委員長会議（富山市） 赤十字奉仕団研修部会役員会（県支部） 赤十字奉仕団研修部会役員会（県支部） NHK海外たすけあい
3月	赤十字奉仕団とやま編集委員会（県支部） 赤十字奉仕団支部指導講師研修会（本社） 赤十字防災ボランティアリーダー養成研修会（本社） 赤十字奉仕団富山県支部委員会常任委員会（県支部） 赤十字奉仕団とやま編集委員会（県支部） 赤十字7原則に関するセミナー（YABC研修）（本社） 赤十字奉仕団とやま（第38号）発行
12月	
11月	
10月	
9月	
8月	
7月	
6月	

*第3B（第3ブロック…富山・石川・福井・岐阜・長野・愛知・静岡・三重 8県で構成）

歴史と伝統を繋ぐ

～周年記念おめでとう～

いっしょにますく

富山県内には、現在、61の赤十字奉仕団があります。最も歴史のある奉仕団は富山赤十字点訳奉仕団で、昭和35年6月に結成されました。

今年度、結成から50年の節目を迎えた奉仕団が2団あります。ひとつは、下村赤十字奉仕団。旧下村（現射水市）を活動エリアとする奉仕団として、昭和46年12月に

結成されました。もうひとつは、

宇奈月赤十字奉仕団。

旧宇奈月町（現黒部市）を活動エリアとする奉仕団として、

昭和47年3月に結成されました。

半世紀にわたって活動

を継続された両団

には、ただただ敬意を表すばかりです。

この2

団のほか、

今年度は

多くの奉仕団が周年記念を迎えました。現在のコロナ禍にあっても1団も欠けることなく歴史を繋いでくださっていることに、心強く感じています。

日本赤十字社の活動は、全国のボランティアに支えられています。また、赤十字奉仕団の活動は、身体を使うボランティアだけではなく、「高齢で活動が出来ないから」と退団される方もおられますが、「社資なら協力できるから」と、ひとりくらし高齢者訪問でお会いした方のお一人が今年度新たに入団されました。赤十字奉仕団と富山県支部、力を合わせて頑張りましょう。（県支部）



祝 伏木赤十字奉仕団45周年記念式典



40周年記念社資協力（大島赤十字奉仕団）

活動推進奉仕団報告

牛乳パックを使った一人用非常食作りを行って

南砺市井口赤十字奉仕団

副委員長 開澤 裕子

11月7日、南砺市井口地区で生涯学習フェスタが開催されました。例年は、地域の小学生と炊き出し体験、募金活動を実施していましたが、昨年は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、募金活動のみの参加でした。今年度は、赤十字の研修で体験した牛乳パックを利用した非常食作りと募金活動を実施することになりました。電気、水道、ガスも使用できない状況で必要な食糧等を牛乳パックに詰め、災害時に必要なものを確認してもらいました。

地域の義務教育学校にも参加案内を行い、当日は家族での参加もみられ、「一日分の食事これだけ」「なんで、牛乳パックに入れるの」「上手く、入るかな」など楽しそうに取り組んでいる姿が見られました。それと合わせて、風呂敷を利用したリュックの作り方も体験していただきました。



した。富山県は災害が少ない県ですが、少しでも、自分でできることを考えてもらえらる機会になればと思います。

コロナ感染で活動内容の制限があり、これまでと同じ内容を行うことは困難な状況が続いています。やり方を見直し、別の視点から取り組むことで新しい活動ができることを今回知ることができました。

サマーボランティアアスクールの中学生との炊き出しと一人用非常食セット作り

小矢部市赤十字奉仕団

委員長 中西 順子

中高生と一緒に出来る活動はないかと役員で話し合い、市社会福祉協議会が開催するサマーボランティアアスクールに参加し防災に関する研修を行うことになりました。開催日の7月26日が夏休みの初日であることが功を奏し



たのか市内4中学校と県立石動高校から生徒29人の応募がありました。コロナ感染が拡大しつつあったので、会場は広い所が良いと新しい小矢部市民交流プラザに。

当日、団員21人と中学生24人が参加しました。検温と手指消毒をして開会です。挨拶、オリエンテーションの後、「赤十字の一年」のDVD鑑賞。その後、2グループに分かれて、ハイゼックスによる炊き出しと牛乳パックの非常食セット作りです。炊き出しは、団員と中学生でグループを作り、6台の調理台に分かれて実施。米と塩昆布、水を入れて空気を抜き、しっかりと袋をひと結び。鍋に入れる所まで中学生がやります。非常食セット作りは、両側に置いた机から品物を取り、品名と賞味期限を記入し糊づけ、テープで止めて完成です。閉会后、お迎えを待つ女生徒が熱々のご飯を食べたらしく、「美味しい」「初めてだけどうまくできた」「何時になっても役立ちと思うので、家族で確認したい」などの感想があり、団員からは「中学生と活動が楽しかった」「若返ったわ!!」などの声。開催できて良かったです。



令和3年度 富山県赤十字奉仕団研修会

今年度の赤十字奉仕団研修会は、富山市・高岡市の県内2カ所で開催。研修会後のアンケートでは、「研修会で学びたいこと、または一般団員に学んで欲しいこと」を伺いました。お寄せいただきましたご意見は、今後の研修会企画の参考にさせていただきます。

□富山・新川地区、特殊対象

開催日 7月15日(木)

場 所 サンシップとやま

参加者 24団62人

□高岡・砺波地区

開催日 7月2日(金)

場 所 高岡市

ふれあい福祉センター

参加者 21団54人

□研修会の内容

◆映像放映

「赤十字この一年」

◆講義

・赤十字の事業

・日本赤十字社の最新動向

・富山県赤十字奉仕団6つの統一

活動と独自活動

・ボランティア活動の進め方

◆事例発表

・「赤十字を理解するということ」

高岡中央赤十字奉仕団

田辺 恵子 委員長

・「小学校（JRC）との

連携活動について」

八尾町赤十字奉仕団

岡崎 智子 委員長

◆グループワーク（テーマ）

「事例発表を聞いて、今思ふこと」



参加者の感想

婦中赤十字奉仕団（富山市）

山本 和子

新型コロナウイルス感染対策をとられた中での研修会で、参加者も会場の収容人数の半数以下の制限でしたが、オンラインが多い中で参加できる幸せを感じました。

まず、「赤十字この一年」の放映は、最新の動向を知るだけでなく、赤十字とは何かを学び、団員としての心構えや自覚を持たせてもらえました。

高岡中央の田辺委員長の事例発表では、社資（活動資金）の使われ方などを皆様に学ばれてから社資額をきめられたとのこと、大いに参考になりました。さらに元赤十字職員である橋本祐子氏の「できるかできないかではなく、するしかないかである」の言葉は、私の心に響きました。

八尾の岡崎委員長からは、小学校が災害避難場所となっていることから具体的な活動事例を写真で紹介され、新聞で作ったスリッパや他のグッズも実際のものを見せ

てもらいました。地元を巻き込んだ大規模な活動に驚きました。

グループワークでは、多くの方が私とおなじような感想を話されていました。また、団員の悩みや要望も共通点が多く、高齢化で団員が少なくなっていく中で、何か良いアイディアや対策はないかと頭をひねっていました。

初めての研修で意欲も高まり、「私は赤十字奉仕団員だ」と一人呟いていました。

令和4年度は、県内4地区で、「炊き出し」をテーマにした研修会を企画しています。十分な感染対策を行って実施する予定ですので、ぜひご参加ください。

・富山地区・特殊

日本赤十字社富山県支部

・高岡地区

高岡市里山交流センター

・新川地区

魚津もくもくホール

・砺波地区

チューリップ四季彩館

新聞スリッパの作り方

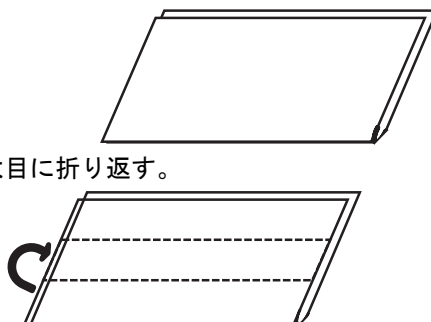
材料：新聞紙2枚

①新聞紙1枚を1面の大きさに折る。

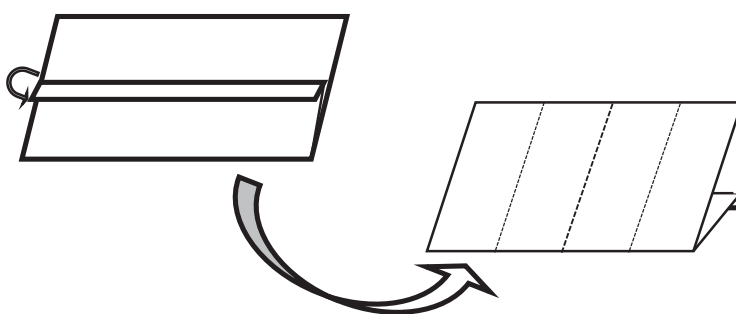
(輪を下にする)

②輪になっている方から端に向かって、1/3よりやや大目に折り返す。

(足の大きさに合わせて調整)

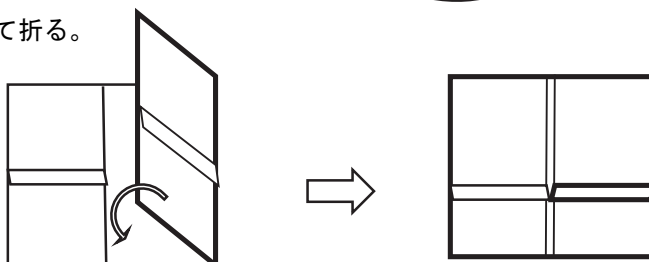


③輪の部分を2cm折り返す。



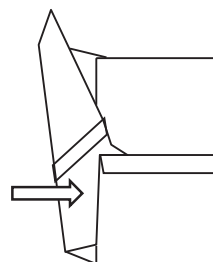
④そのままひっくり返す。

⑤左右両側から中心に向かって折る。

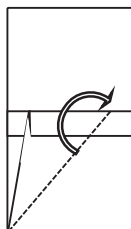


⑥中心の切れ目の線にあわせて素直に半分に分ける。

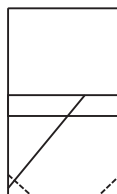
この時、小さなポケット状の部分に入れ込むように折る。



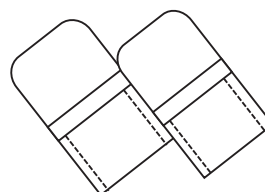
⑦ひらひらした部分を斜めに折り込む。



⑧角を折り、形を整える。(両端を立てても良い)



⑨ひっくり返して足を入れる。同じものをもう一つ作る。



やってみよう!



日本赤十字社は、「健康生活支援講習」を行っています。この講習では、「地域で支える認知症」と「災害時高齢者生活支援講習」という名称で、各分野に特化した内容も学ぶことができます。今回は、災害時高齢者生活支援講習から、災害時だけでなく長時間の移動の足休めにも使える「新聞スリッパ」の作り方を紹介します。

《我が団の紹介》

蜷川赤十字奉仕団(富山市)

委員長 杉山 由美

当団は、昭和47年11月に、富山市南部地区で結成され今年度で節目の50年を迎えます。現在団員は105人ですが、主に活動に参加される方は30人ほどです。

私たちは、献血運動のほか、ひとりぐらし高齢者訪問では校下の皆さんの協力の下、年2回、約130人のお宅を訪問しています。また、令和元年度からは、社会福祉協議会、こども食堂の方々と一緒に、親子で防災について学ぶ講習やハイゼックスでの炊き出し訓練を行い、子供たちと共に私たちが災害について学んでいます。



今年2月には、蜷川小学校の4年生4クラスで、「赤十字奉仕団のみなさんから非常食について学ぼう」と題した授業の講師をしてきました。奉仕団の役割や災害についてお話しした後、児童と一緒に牛乳パックを使った一人用非常食セット作りを楽しみました。

私たち奉仕団は、地域の方々の協力を得ながら、楽しく笑顔で活動の輪を広げていきたいと思っています。より多くの方に蜷川赤十字奉仕団の活動を理解し応援していただけるようこれからも団員の皆さんとがんばってまいります。

八尾町赤十字奉仕団(富山市)

副委員長 大平 智恵子

八尾町赤十字奉仕団は、昭和52年4月、45人で結成し、43年の歴史を重ね、現在147人、9分団で構成しています。その活動のいくつかを紹介します。

高齢者、障害者等の4施設では、清掃、縫い物、シーツ交換、喫茶コーナー等の活動を一年を通じて行い、障子はりや夏祭り等の行事にも協力し、交流を深めています。

また、小学生の親子活動では、炊き出しや防災教室を行い、楽しく体験する中で防

災への理解や関心を高めています。

そして設立40周年となった平成30年には、皇居勤労奉仕を実施しました。本丸や宮中三殿などの奉仕活動は貴重な体験であり、天皇、皇后両陛下に間近でお会いし、頂いた優しいお言葉、温かいまなざしは忘れられぬ思い出です。

年に一度の研修旅行もあります。見学、観光、そして夕食には、共に語り、歌い、笑い、おわらを踊って宴を閉じます。団員の距離も縮まり、親睦を深める楽しい旅です。

コロナ禍の中、できない活動もありますが明るく前向きに、今できる活動を着実に進めていきたいと思っています。



表彰を受けられた方々おめでとうございます。今後益々のご活躍をご期待申し上げます。

業務功勞

●金色有功章（継続20年）

【奉仕団】

富山県無線赤十字奉仕団

富山県青少年赤十字賛助奉仕団

●銀色有功章（継続15年）

【奉仕団委員長】

長谷 芳子（安野屋赤十字奉仕団（富山市）

土肥 靖子（新庄北赤十字奉仕団（富山市）

●金梓感謝状（継続10年）

【奉仕団委員長】

岡崎 智子（八尾町赤十字奉仕団（富山市）

中村ひとみ（白菊赤十字奉仕団（富山市）

吉田 悦子（大山赤十字奉仕団（富山市）

●銀梓感謝状（継続5年）

【奉仕団委員長】

伏江美保子（高岡南部丸美赤十字奉仕団）

飯野エミ子（富山赤十字芸能奉仕団）

社資功勞

●厚生労働大臣感謝状

高野 光子（伏木赤十字奉仕団（高岡市）

満間 信江（新庄赤十字奉仕団（富山市）

（ともに赤十字奉仕団）

●日本赤十字社長感謝状

樋口ちづ子（白菊赤十字奉仕団（富山市）

●金色有功章

押川 和子（中田赤十字奉仕団（高岡市）

曾田 朝子（伏木赤十字奉仕団（高岡市）

竹内 時正（大島赤十字奉仕団（射水市）

松長 一雄（伏木赤十字奉仕団（高岡市）

松長 久子（伏木赤十字奉仕団（高岡市）

松林 富子（南砺市城端赤十字奉仕団）

吉田とし子（新湊中央赤十字奉仕団（射水市）

タナベ自動車株式会社

（高岡中央赤十字奉仕団）

●銀色有功章

橋本 侑大（伏木赤十字奉仕団（高岡市）

大島赤十字奉仕団（射水市）

※社資功勞につきましては、赤十字奉仕団員並びに奉仕団幹旋の受章者のうち、ご承諾をいただいた方のみ掲載しております。
（R3・2・1～R4・1・31）

（敬称略）（五十音順）

ボランティア保険

日赤県支部が加入しているボランティア保険について、お知らせします。

これらはすべて、日本国内における奉仕団活動中（所属団及び県支部が認めるもので、会議や研修会も含む）の事故に限られます。不慮の事故の際は、各団委員長を通じて、市町村の日赤担当者と県支部に報告して下さい。（生じた事由によっては、保険金をお支払いできない場合もあります。）

■他者への賠償金……支払限度額 5億円

◆保険金が支払われる主な場合

(1) 次のいずれかに該当する事由による他人の身体の障害または財物の損壊
・ボランティア活動中に発生した偶然な事

由

・ボランティア活動中に伴って提供した財物に起因する偶然な事由

・ボランティア活動の結果に起因する偶然な事由

(2) ボランティア活動に伴って占有、使用または管理する受託物の偶然な事由による損壊、紛失または窃取（ただし、受託物について正当な権利を有する物に対して負担する損害賠償責任に限りません）

■自身の傷害

…死亡・後遺障害 12、540千円

…入院保険金日額 6、300円

…通院保険金日額 4、200円

◆保険金が支払われる主な場合

(1) 死亡保険金

事故によるケガのため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合

(2) 後遺障害保険金

事故によるケガのため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に約款所定の後遺障害が発生した場合

(3) 入院保険金

事故によるケガの治療のため、事故の発生のその日から180日以内に入院された場合

(4) 通院保険金

事故によるケガの治療のため、事故の発生のその日から180日以内に通院（往診を含む）された場合

令和4年度に周年記念を迎える奉仕団

50周年

蜷川赤十字奉仕団（富山市）

40周年

滑川市赤十字奉仕団

立山町赤十字奉仕団

黒部市石田赤十字奉仕団

山田赤十字奉仕団（富山市）

大山赤十字奉仕団（富山市）

細入赤十字奉仕団（富山市）

令和4年度の研修旅行ご案内

詳細な旅程・募集は、各団委員長に改めてお知らせします。（新型コロナウイルス感染の影響で、実施が中止・延期となる場合があります。）

◇実施予定 10月（日帰り）



◎ホームページ

日本赤十字社本社・各都道府県支部統一デザインにリニューアルしました。ブラウザの「ブックマーク」や「お気に入り」に登録されている場合は、新しいURLに登録変更をお願いします。

◎Twitter

新たに始めました。スマートフォンなどに「Twitterアプリが入っている場合は、「フォロー」をお願いします。

どちらもパソコンやスマートフォンで、「日本赤十字社富山県支部」を検索してくださいね！

令和3年度 富山県支部扱い義援金・救援金

※金額及び件数は1/31メ

国内	平成30年7月豪雨災害義援金	4件	25,386円
	令和2年7月豪雨災害義援金	13件	152,093円
	令和3年2月福島県沖地震災害義援金	16件	311,185円
	令和3年島根県松江市大規模火災義援金	3件	39,748円
	令和3年7月大雨災害義援金	46件	3,544,904円
	令和3年台風第9号等大雨災害義援金	11件	252,130円
	令和3年8月大雨災害義援金	22件	1,957,402円
	令和3年長野県茅野市土石流災害義援金	8件	428,315円
海外	2021年ハイチ地震救援金	4件	9,801円
	アフガニスタン人道危機救援金	6件	182,858円
	令和3年度NHK海外たすけあい	732件	6,895,801円
	地域を指定しない海外救援金	1件	200,000円
その他	青少年赤十字活動資金	1件	59,555円

合計 867件 14,059,178円

（奉仕団からの報告があった場合を除き、郵便振替を利用され日赤本社や被災地支部に直接送金された分の件数・金額は、この記載に含まれておりません）



へのつづ

入団して間もなく「赤十字奉仕団は、災害時・非常時に活動できる組織であってください」と、講演された言葉が印象深く残っています。

緊急時の活動とは何？

今は、奉仕団への信頼と期待と励ましの言葉だと受け止めています。

このたび寄稿していただいた奉仕団からは、それぞれに奉仕団としての誇りと熱意が育まれていることを確信しました。

また、コロナ禍であっても創意工夫した活動をされていることに、敬意を表します。

これからも前向きに奉仕活動をつないでいきましょう。

（入善町 大角記）

編集委員

岡崎 智子 吉國 姫子
大角 秋代 中西 順子
杉山 由美 渡邊 睦子
小川 和子 谷場美智子